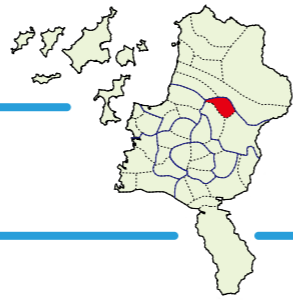


ごみょう 五明地区

人口:426人(高齢化率48.8%)
世帯数:225世帯

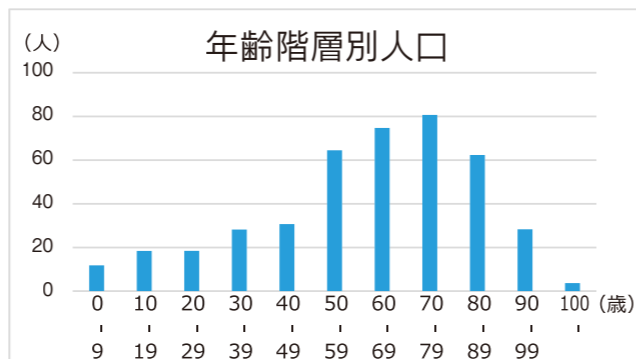


【地区の特色】

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と昼夜の温度差がある立地条件を生かし、古くからぶどう栽培に取り組んでいる。また、五明太鼓などの芸能文化の振興を盛んに行っている。地区内には源氏ボタルが自然発生する「五明川」が流れており、地域が一体となって「ふるさとの自然と文化の継承」に努めている。



五明小学校児童による五明太鼓と獅子舞



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> 顔見知りが多く、どこの誰だか把握できる 個人でゴミ捨てや買い物の助け合いをしている 車で通勤 自然が豊かで季節を肌で感じることができる 自主防災と連携し災害時の避難の仕組みを作っている まち協ができ、地域団体との連携が取れている 田植え稲刈りなど地域の子ども達との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢家庭や独居家庭が増えた 子どもが少ない 交通の便が悪く、通院、買い物が不便 イノシシ、シカ、サルによる作物被害 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化と少子化(児童減少で小学校の存続が心配) 交通の便が悪い 金融機関が遠い 車の往来しにくい狭い道や、豪雨のたびに崩落が起きる悪路がある 空き家、空き地も多く掃除が行き届いてない、活用できていない、危険 災害時の危険箇所が多い 在宅で生活し続けることが難しい 集落によって課題の深刻度合いが異なる

五明地区社会福祉協議会

人が好き 自然が好き 五明が大好き

構成団体	地区民協・区長会・まちづくり協議会・公民館
主な取り組み	活動内容
福祉弁当	75歳以上の高齢者を対象に、安否確認を込めた見守りも含め、4月にたけのこごはんを作り配布しています。
夏休み大清掃	小学生が気持ちよく二学期を迎えることができるよう、通学路および小学校周辺を地域の方で清掃しています。
シクラメン配布	毎年12月に五明苑の入所者と在宅の75歳以上の独居高齢者、90歳以上の高齢者世帯を訪問し、シクラメンをプレゼントしています。

お米作り体験学習

福祉学習事業の一環として、公民館、PTA、まちづくり協議会、民生委員・児童委員と連携し、田植えから稲刈り、もちつき、しめ縄作りまでの各種農作業を通して児童の教育と地域の幼稚園児から高齢者までの交流を支援しています。



<地区社協が目指すもの>

五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、敬老会、さくらまつり、はたるまつり、盆踊り大会、地区運動会、しめ縄づくり、もちつき、ふる里まつりなどの地域行事と並行した社協活動の実施を基本方針としています。

今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の強化を目指していくものとします。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	6名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ ■子ども会	10団体 0クラブ 0団体
	■まち協の設立	平成23年度	■自主防災組織	5組織

人間関係の希薄化が問題視される現在において、五明地区では互いの顔を知り助け合いのできる関係が維持されています。このような関係性があるからこそ、地域を守る自主防災訓練のほか、お祭りや運動会などの恒例化された地域行事が継続されているといえるでしょう。中心部への若い世代の流出は多くの地区が抱える課題ですが、地域の子どもや小学生と田植えなどで交流を図っているほか、地域住民による小学校周辺の清掃活動などが精力的に行われています。これらの活動は子どもたちが地域の一員であり、地域の大人たちに支えられていると実感できる取り組みだといえるでしょう。人と人とのつながりという強みを生かして、様々な世代が地域での活動を支え楽しめる環境づくりが期待されています。

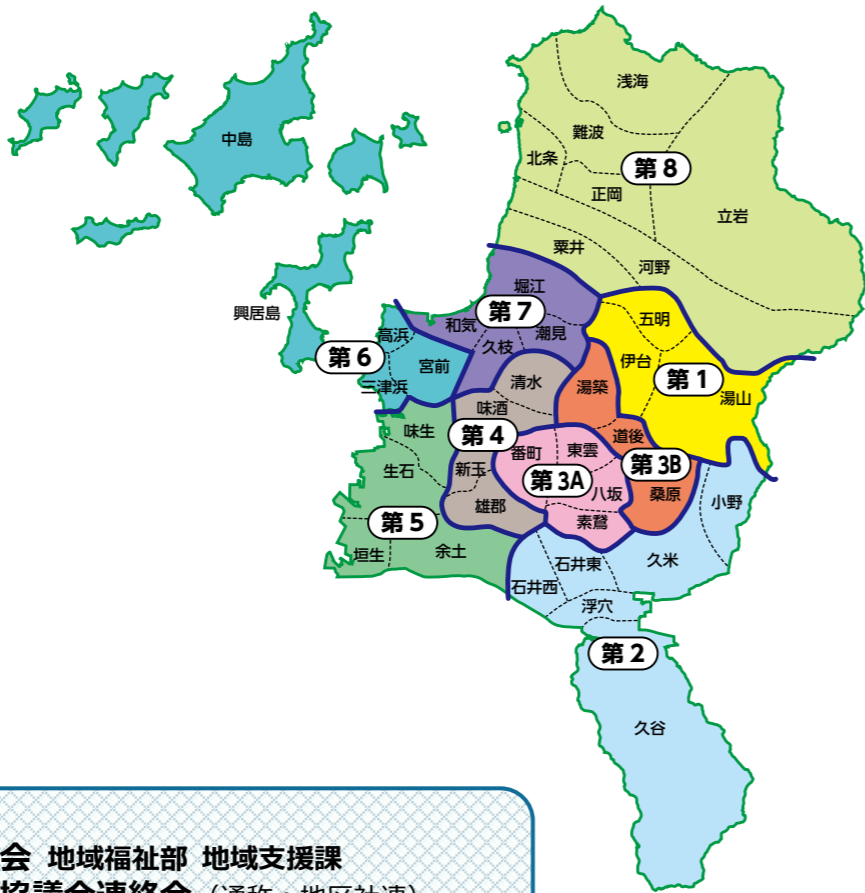


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
素鷲地区	味酒地区	味酒地区			
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	湯築地区		新玉地区		新玉地区
桑原地区	味酒地区	味酒地区			
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
味酒地区	味酒地区	味酒地区			
第5	余土地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	垣生地区		新玉地区		新玉地区
	生石地区		清水地区		清水地区
味生地区	味酒地区	味酒地区			



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

①地区の概要
 五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に誇りを持っている。また、五明太郎などの「五明太郎」が自然発生の「五明川が流れており、清流に憩っている。

②地域住民からみた地域の状況
 高齢者が多く、この地域が把握できる一家庭内の事情がある程度わかっている。個人で生活して中絶、物取合いをして、移動サービスが来る。車での通勤・通学時間は遅くも20-30分で市内中心部へ行く。自然が豊かで季節を感じることができる。食へのこだわり（こだわり）が強い。自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。集会所が利用できる。田舎暮らしなど地域の子どもの交流。

③地区社協の概要と取り組み
 五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、奉仕活動、まちづくり、健康づくり、高齢者支援、しめつけ、もちつき、ふるさとまつりなどの地域行事と連携した地域活動の実施を基本方針としています。今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の推進を目標としています。

④地区内関係団体データ
 地区民協、まち協の設立、町内会等、高齢クラブ、子ども会、自主防災組織のデータが記載されています。

⑤地域福祉推進のポイント
 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

- ①地区の概要**
- 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
- 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
- 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**
- | | |
|---------|--------------------------------|
| ■地区民協 | 令和5年4月1日現在の定数 |
| ■まち協の設立 | 令和5年9月1日現在の設置状況 |
| ■町内会等 | 令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日） |
| ■高齢クラブ | 松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在） |
| ■子ども会 | 令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在） |
| ■自主防災組織 | 自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在） |
- ⑤地域福祉推進のポイント**
- 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏